

2006年（平成17年）3月7日（火）

「第6回 森林再生小委員会」が釧路合同庁舎で開催されました。

■開催概要

第6回森林再生小委員会が平成18年3月7日（火）に釧路地方合同庁舎において開催されました。

委員会は、構成委員41名（個人 13名、団体16団体、オブザーバー4団体、関係行政機関8機関）のうち、21名（個人7名、団体7団体、オブザーバー1団体、関係行政機関6機関）の出席により開催されました。

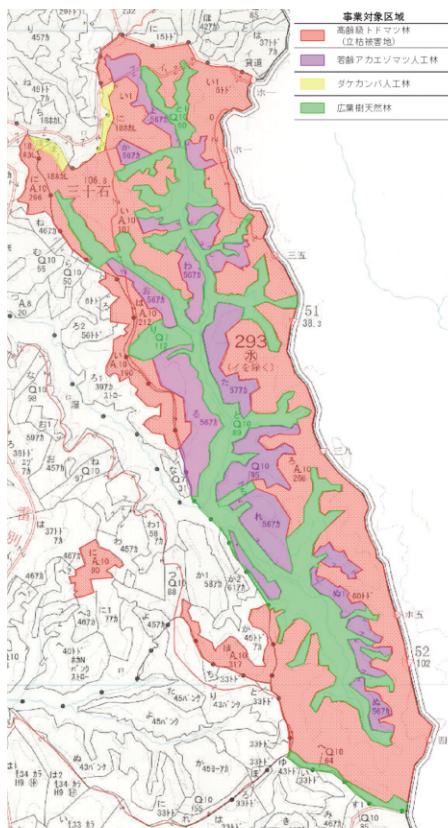
会議は、まず、雷別地区の17年度の調査・検討結果と実施計画の考え方についての協議を行い、次に達古武地域の17年度の調査・検討結果についての協議をしました。

また、釧路湿原達古武地域自然再生事業実施計画は、修正の後、2月28日付けで主務大臣並びに知事宛てに提出された旨が報告されました。

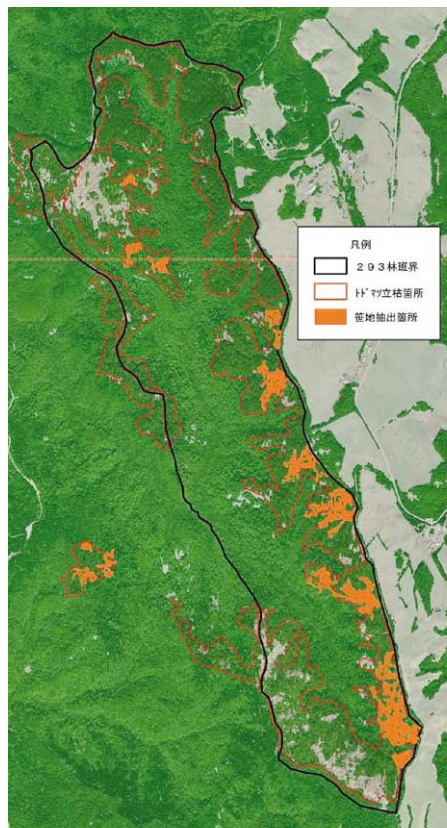


雷別地区における森林再生の調査・検討成果

事業実施区域の考え方



事業対象区域（雷別地区国有林293林班）



森林再生を実施する笹地

● 事業対象区域は、雷別地区の国有林で、水土保全の観点での評価をおこない選出された293林班と近隣のトドマツ立枯被害跡地の約240haとする。

● 森林を再生する事業は、この区域の中のトドマツ立枯被害跡地で、樹冠が疎や無立木の状態になっている箇所を実施する。

● 具体的に森林再生を実施する箇所は、比較的面積のまとまりのある笹地とする（図のオレンジ色箇所）。



南ブロックの景観